

第4回 えびな南高齢者施設 運営協議会 議事録

日時：2022年3月11日（金）14：00～16：00

場所：地域交流室（1階）

参加者：（敬称略）

地域住民代表（自治会長）	3名
ボランティア会代表	1名
家族会代表	2名
施設代表	欠席
所長（司会・記録）・副所長	2名

1. 挨拶

2. 活動状況の報告

（1）2021年度10月～12月の活動報告

①利用状況・・・資料①参照

養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービスの利用状況について、資料に基づき、稼働率等を説明する

②ボランティアについて（10月～12月）・・・資料②参照

③事故・苦情について（10月～12月）・・・資料③-1、資料③-2参照

ご意見・ご質問

・利用状況からの質問

養護老人ホームの入所条件はあるのか。

回答）経済的理由や環境上の理由から生活困難な状況の65歳以上の方が対象で、市町村の措置によって入所できるのが、養護老人ホームである。

・事件事例からの質問・意見

事故報告例にある対象者について「要介護度」が記入されていると、どのくらいの身体レベルなのかがわかりやすいのではないかと。

回答）介護にどれだけの時間を要するかを示したものが「要介護度」であるが、自宅と施設では環境の違いから、施設のほうが「要介護度」が低くなる例もある。資料では、どのくらいの身体の動きが出来るかを記載させてもらった。

送迎車のドアに近い席は、利用者は座らないのではないかと。

回答）基本的にはその通りである。今回は、ご本人がその場所が良いということで座っていた。しかし、ドア側の座席はリスクがあるのと、特に補助席はリスクがあるということを職員間で周知した。

(2) 感染症発生状況

- ① 1 月末までは職員の感染は皆無だったが、2 月に入り陽性者が発生。
→ 職員の感染例、職員の同居者の感染例について報告。
- ② 職員の同居者による感染、利用している保育園でのコロナ発生～保育園閉鎖等で職員が出勤できない状況も多くなった。
- ③ 上記の理由から、職員の応援調整などができず、えびな南でも デイサービス事業を 10 日間休業した。

(3) 防災関係 下記を報告する

- ① 地震・火災を想定した防災訓練を実施した（避難誘導・消火訓練）
- ② メール機能を活用し火災発生時に、職員が事業所へ駆けつけるための呼集訓練を実施。

(4) 社会福祉法人としての公益的 取組み（10 月～12 月）

- ① ライフサポート事業（1 名 1 回対応）
- ② 就労支援事業（現在 1 名）

(5) 養護老人ホームの紹介～ 養護課担当者欠席のため所長から

- ① 「第 56 回関東ブロック老人福祉施設研究総会」で発表した動画を披露した。
テーマ「自立した避難訓練」について → 生活の一部を紹介
- ② 養護老人ホームと特別養護老人ホームの違いを説明
法律の違い、入所までの過程が異なることなど

ご意見・ご質問

・防災訓練の写真で、入居者がベランダに出ていたが、ベランダから下に降りることができるようになっているのか。

回答) 滑り台と非常階段がある。火災の時、建物内にいると煙を吸い込んでしまうため、まずは外へ出る事とそこで消防隊の救助を待つことにしている。

3. 地域住民代表者より

- ・ 1 年間とても勉強になりました。養護老人ホームと特別養護老人ホームの違いも、この機会で見ることができました。
- ・ ライフサポート事業やユニバーサル就労の支援のことがよくわかりました。
- ・ 災害時に、補助避難所として自治会館も活用できるようになっているので、こうした機会にもお互いに協力し合っていきたいと思います。
- ・ 職員が細かい点まで気を遣い対応されていることがわかり大変さを感じました。
- ・ 昔、自治会の敬老の集いで、えびな南高齢者施設で交流していたことがありました。これからも機会をつくって交流していければと思います。今回は、こういう形で参加でき、とてもよかったです

4. ボランティア代表より

- ・入居者の方となかなかお会いすることができないのですが、ボランティア活動ができるようになったら、活動開始をしたいです。

5. ご家族代表より

- ・家族会活動もコロナ禍で減少してしまいましたので、家族会の報告することができませんでした。
- ・この機会に、施設の情報を得ることができました。
- ・在宅サービスを利用していましたが、入所が決定しました。これからは、入所の家族の方たちと活動をしていく予定です。
- ・デイサービス、ショートステイは、家族にとって、とても助かりました。